学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術・美術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や版画、彫刻やデザインなどの美術の基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。

・鉛筆や色鉛筆、カラーマーカーや水彩絵の具などの基本画材の活用技術を学ぶとともに、一人ひとりの感じ方、考え方も大切にしながら、創造的な表現の喜びを味わいましょう。

・他の人の作品や、美術史的に重要な作品などを鑑賞しながら、自分の見方だけでなく、他の人の見方も知ることで、美術に対する理解を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.美術への関心・意欲・態度	b.発想や構想の能力	c.創造的な技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現方法を経験することにより美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現の意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品	練習課題 完成作品	ワークシート 鑑賞活動や発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	絵画・デザイン	①はじめに	◎オリエンテーション	○				a：美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を持って取り組もうとしている。	制作の様子
		②鉛筆	◎「鉛筆での濃淡表現」 ※筆圧や密度を調整し、６段階を表現 ◎「直線による構成」 ※縦横各８本の直線により画面を分割し濃淡による表現 ◎「そっくりに描く」 ※ピカソの泣く女を鉛筆で模写	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、鉛筆による表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：課題の条件を理解し、その制約の中でイメージを膨らませ、豊かな発想と直線の組み合わせによる確かな構成力を発揮している。 c：鉛筆画材の特性に応じた表現方法を身に付け、それを自分なりに組み合わせて活用する事でオリジナリティ豊かな作品となるよう、工夫している。 d：制作者の意図や鉛筆表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品
		③色鉛筆	◎「色鉛筆による表現」 ※筆圧や密度、混色を調整し調色練習 ※セザンヌの静物画を色鉛筆で模写	○ ○	○	○ ○	○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、色鉛筆画材による表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：原画となる油絵作品をよく観察し、その美しさを感じ取りながら、創造的な構想を練っている。 c：課題の条件を理解し、色鉛筆による表現方法を身に付けている。 d：制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品
		④カラーペン	◎「カラーペンによる表現」 ※ハッチング法による着色とクロスハッチング法による混色の練習 ※直線３本、曲線１本、円２個による構成を行い、カラーペンで着色	○ ○	○	○ ○	○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、カラーペンによる表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：課題の条件を理解し、その制約の中でイメージを膨らませ、豊かな発想と確かな構成力を発揮している。 c：カラーペンの特性に応じた表現方法を身に付け、それを自分なりに組み合わせて活用する事でオリジナリティ豊かな作品となるよう、工夫している。 d：制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品 鑑賞での発言内容
		⑤水彩絵の具	◎「文字の構成」 ※水彩絵の具の塗方練習 ※水彩絵の具の混色練習 ※明朝体ひらがなの練習 ※文字「ひらがな」による構成 ・ことばからイメージを広げ、配色に工夫する。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、水彩絵の具による表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：課題の条件を理解し、その制約の中でイメージを膨らませ、豊かな発想とたしかな構成力を発揮している。また、明朝体の持つ美しさを感じ取りながら構想を広げている。 c：水彩絵の具基の基本的な使用方法を身に付け、塗り斑やはみ出しなく美しく仕上げようと努めている。また、その特性に応じた表現方法を身に付け、それを自分なりに組み合わせて活用する事でオリジナリティ豊かな作品となるよう、工夫している。 d：制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品 鑑賞での発言内容

後期	絵画・版画・彫刻	①はじめに	◎オリエンテーション ・前期作品の返却 ・後期に向けて	○				a：美術の多様な表現に関心を持ち、前期の学習を踏まえて後期の学習に意欲を持って取り組もうとしている。	制作の様子
		②木版	◎「連続模様による『紙袋』の装飾」 ※連続する模様となる基本図形を考える。 ※基本図形を木版に彫り起こす ※基本図形の木版を紙袋に刷ることで、装飾を施す。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、基本図形を連続させる事で新しい図柄が生まれることに関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：課題の条件を理解し、基本図形を連続させる事をイメージして美しい装飾を構想している。また、配色に工夫している。 c：彫刻刀の使い方を身に付け、基本図形を正確に木版として仕上げようと努力している。また、完成した木版を活用し、紙袋に美しく定着させようと努めている。 d：制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品
		③墨および水彩絵の具	◎「絵手紙の制作」 ※描画の基本練習 ※着色の基本練習 ※添える言葉 ※「葉っぱ」をモチーフにして ※「みかん」をモチーフにして ※「さかな」をモチーフにして	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：説明に対して、熱心に耳を傾け、墨や水性絵の具による絵手紙の表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b：絵手紙の表現方法を理解し、その特徴の中でイメージを膨らませ、言葉やモチーフから豊かな発想を行っている。また、文字と絵のバランスに美しさを感じ取りながら構想を広げている。 c：墨や水性絵の具による「にじみやぼかし、掠れ等」、絵手紙の描画・着色表現技法を身に付け、美しく仕上げようと努力している。また、モチーフや見本となる作例をよく観察し、その形や雰囲気を感じ取りながらオリジナリティ豊かな作品となるよう、工夫している。 d：制作者の意図や表現の工夫を理解し、絵手紙の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品
		④バルサ木片	◎「そっくりに彫る」 ※パプリカをモチーフに写実的にデッサンする。 ※パプリカをモチーフに写実的に彫刻する。	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：身の周りにある物の形をよく観察し、作品として表現することに意欲的に取り組もうとしている。 b：パプリカの形体から美しさを感じ取り、立体把握を構想している。 c：彫刻刀を用いてパプリカの形体や質感を立体的に表現する為の工夫を凝らしている。 d：制作者の表現の工夫や彫りの努力を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作途中の作品 完成作品 鑑賞での発言内容

※　表中の観点について

a：美術への関心・意欲・態度

b：発想や構想の能力

c：創造的な技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものに〇印を付けている。